

# 決算短信補足資料

( 2019年3月期 第1四半期決算 )

2018年7月31日

西日本旅客鉄道株式会社

# 1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	対前年		2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想 (7/31)*	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
	A	B			C	D		
<b>【連結】</b>								
営業収益	3,525	3,611	+85	102.4	15,004	15,255	+250	101.7
営業利益	547	602	+54	110.0	1,913	1,875	▲ 38	98.0
経常利益	505	564	+58	111.7	1,777	1,740	▲ 37	97.9
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	347	385	+38	111.0	1,104	1,110	+5	100.5
<b>【単体】</b>								
営業収益	2,362	2,395	+32	101.4	9,762	9,880	+117	101.2
運輸収入	2,110	2,137	+26	101.3	8,678	8,780	+101	101.2
営業費用	1,897	1,866	▲ 31	98.3	8,319	8,430	+110	101.3
人件費	549	543	▲ 6	98.9	2,214	2,170	▲ 44	98.0
物件費	846	841	▲ 4	99.5	4,076	4,265	+188	104.6
動力費	105	109	+3	103.7	440	465	+24	105.5
修繕費	278	264	▲ 13	95.1	1,614	1,725	+110	106.8
業務費	462	467	+5	101.2	2,021	2,075	+53	102.7
減価償却費	331	316	▲ 14	95.6	1,368	1,365	▲ 3	99.8
営業利益	465	529	+64	113.8	1,443	1,450	+6	100.4
経常利益	420	498	+77	118.4	1,286	1,310	+23	101.8
四半期(当期)純利益	291	349	+58	120.0	807	895	+87	110.8

\* 2018年4月27日発表の通期予想から変更していません。

# 2. 単体損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	対前年		2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想 (7/31)*	対前年	
			増減	比率(%)			増減	比率(%)
	A	B	B-A	B/A	C	D	D-C	D/C
営業収益	2,362	2,395	+32	101.4	9,762	9,880	+117	101.2
運輸収入	2,110	2,137	+26	101.3	8,678	8,780	+101	101.2
その他収入	252	258	+6	102.5	1,084	1,100	+15	101.5
営業費用	1,897	1,866	▲ 31	98.3	8,319	8,430	+110	101.3
人件費	549	543	▲ 6	98.9	2,214	2,170	▲ 44	98.0
物件費	846	841	▲ 4	99.5	4,076	4,265	+188	104.6
動力費	105	109	+3	103.7	440	465	+24	105.5
修繕費	278	264	▲ 13	95.1	1,614	1,725	+110	106.8
業務費	462	467	+5	101.2	2,021	2,075	+53	102.7
線路使用料等	75	67	▲ 7	90.0	302	275	▲ 27	91.0
租税公課	95	96	+1	101.3	357	355	▲ 2	99.3
減価償却費	331	316	▲ 14	95.6	1,368	1,365	▲ 3	99.8
営業利益	465	529	+64	113.8	1,443	1,450	+6	100.4
営業外損益	▲ 44	▲ 31	+13	70.6	▲ 157	▲ 140	+17	89.1
営業外収益	8	19	+10	-	62	75	+12	-
営業外費用	53	51	▲ 2	-	219	215	▲ 4	-
経常利益	420	498	+77	118.4	1,286	1,310	+23	101.8
特別損益	▲ 3	▲ 4	▲ 0	-	▲ 92	▲ 20	+72	-
特別利益	17	43	+26	-	298	-	-	-
特別損失	20	47	+26	-	390	-	-	-
四半期(当期)純利益	291	349	+58	120.0	807	895	+87	110.8

\* 2018年4月27日発表の通期予想から変更していません。

### 3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2019年3月期1Q実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	1,097	+23 (102.2%)	基礎トレンド(101.7%)		+18
			特殊要因	・インバウンド	+4
				・曜日配列	+4
				・大阪北部地震	▲ 4
		等			
在来線	775	+1 (100.2%)	基礎トレンド(99.9%)		▲ 0
			特殊要因	・インバウンド	+2
				・曜日配列	+1
				・大阪北部地震	▲ 4
		等			
在来線	264	+1 (100.7%)	基礎トレンド(100.1%)		+0
			特殊要因	・インバウンド	+0
				・曜日配列	+0
				・大阪北部地震	▲ 1
		等			
在来線計		1,040	+3 (100.3%)		
運輸収入計		2,137	+26 (101.3%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

# 4. 運輸収入と旅客輸送量の実績と業績予想

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	1Q実績 (4/1~6/30)			通期実績/予想			1Q実績 (4/1~6/30)		
	2018年3月期	2019年3月期	対前年	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想 (7/31) *	対前年	2018年3月期	2019年3月期	対前年
全社計	2,110	2,137	+26 101.3%	8,678	8,780	+101 101.2%	14,666	14,750	+83 100.6%
新幹線	1,073	1,097	+23 102.2%	4,477	4,547	+70 101.6%	4,999	5,075	+75 101.5%
定期	27	28	+1 103.8%	107	-	-	216	225	+8 104.0%
定期外	1,046	1,068	+22 102.2%	4,369	-	-	4,783	4,850	+67 101.4%
在来線	1,037	1,040	+3 100.3%	4,200	4,232	+31 100.7%	9,667	9,674	+7 100.1%
定期	363	364	+0 100.1%	1,420	-	-	6,002	5,997	▲5 99.9%
定期外	673	676	+2 100.4%	2,779	-	-	3,664	3,677	+12 100.3%
近畿圏	774	775	+1 100.2%	3,090	3,120	+30 101.0%	7,611	7,610	▲0 100.0%
定期	298	299	+0 100.2%	1,169	-	-	4,914	4,913	▲1 100.0%
定期外	475	475	+0 100.1%	1,920	-	-	2,697	2,697	+0 100.0%
その他	263	264	+1 100.7%	1,110	1,111	+0 100.1%	2,055	2,063	+8 100.4%
定期	64	64	▲0 99.7%	251	-	-	1,087	1,084	▲3 99.6%
定期外	198	200	+1 101.0%	859	-	-	967	979	+12 101.3%

\* 2018年4月27日発表の通期予想から変更していません。

# 5. 単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2019年3月期1Q実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	543	▲ 6 (98.9%)	・人員差 等
動力費	109	+3 (103.7%)	・燃料費調整額増 等
修繕費	264	▲ 13 (95.1%)	・工事進捗差 ・構造物対策経費減 等
業務費	467	+5 (101.2%)	・会社間清算増 ・システム関連経費増 等
線路使用料等	67	▲ 7 (90.0%)	・JR東西線 等
租税公課	96	+1 (101.3%)	
減価償却費	316	▲ 14 (95.6%)	・償却進捗 等
営業費用計	1,866	▲ 31 (98.3%)	

# 6.連結損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 1Q実績 A	2019年3月期 1Q実績 B	対前年		2018年3月期 通期実績 C	2019年3月期 通期予想 (7/31)* D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益	3,525	3,611	+85	102.4	15,004	15,255	+250	101.7
営業費用	2,977	3,008	+30	101.0	13,090	13,380	+289	102.2
営業利益	547	602	+54	110.0	1,913	1,875	▲ 38	98.0
営業外損益	▲ 42	▲ 38	+3	90.8	▲ 135	▲ 135	+0	99.4
営業外収益	12	15	+2	-	90	86	▲ 4	-
営業外費用	55	54	▲ 1	-	226	221	▲ 5	-
経常利益	505	564	+58	111.7	1,777	1,740	▲ 37	97.9
特別損益	7	▲ 4	▲ 12	-	▲ 71	▲ 70	+1	-
特別利益	33	47	+13	-	328	-	-	-
特別損失	26	52	+26	-	399	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	347	385	+38	111.0	1,104	1,110	+5	100.5
四半期包括利益	360	388	+28	107.9	1,141	-	-	-

\* 2018年4月27日発表の通期予想から変更していません。

# 7.セグメント情報と業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 1Q実績 A	2019年3月期 1Q実績 B	対前年		2018年3月期 通期実績 C	2019年3月期 通期予想 (7/31)*1 D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益*2	3,525	3,611	+85	102.4	15,004	15,255	+250	101.7
運輸業	2,297	2,329	+31	101.4	9,508	9,620	+111	101.2
流通業	566	585	+19	103.4	2,398	2,448	+49	102.1
物販・飲食	386	405	+19	105.1	1,617	1,670	+52	103.3
【宿泊特化型ホテル】(再掲)*3	【27】	【29】	【+2】	【110.5】	【116】	【127】	【+10】	【109.0】
百貨店	160	159	▲ 1	99.4	701	691	▲ 10	98.6
不動産業	350	338	▲ 12	96.6	1,396	1,478	+81	105.8
ショッピングセンター	143	149	+6	104.4	596	607	+10	101.8
不動産賃貸・販売	201	183	▲ 18	90.7	781	851	+69	109.0
【不動産販売】(再掲)	【95】	【72】	【▲ 23】	【75.7】	【350】	【407】	【+57】	【116.4】
その他	310	357	+46	115.1	1,700	1,709	+8	100.5
ホテル	90	84	▲ 5	93.8	356	361	+4	101.3
旅行	88	84	▲ 3	95.7	413	419	+5	101.3
営業利益*2	547	602	+54	110.0	1,913	1,875	▲ 38	98.0
運輸業	427	489	+62	114.6	1,303	1,306	+2	100.2
流通業	14	17	+2	117.8	72	57	▲ 15	78.1
物販・飲食	13	14	+0	106.2	60	44	▲ 16	72.3
百貨店	0	2	+2	610.0	9	10	+0	101.1
不動産業	105	96	▲ 9	90.6	357	334	▲ 23	93.3
ショッピングセンター	22	25	+3	114.0	87	85	▲ 2	97.5
不動産賃貸・販売	60	67	+6	111.5	173	156	▲ 17	89.7
その他	▲ 4	▲ 9	▲ 5	-	199	211	+11	105.7
ホテル	5	1	▲ 4	24.9	19	14	▲ 5	70.5
旅行	▲ 12	▲ 12	+0	-	2	3	+0	109.6

\*1 2018年4月27日発表の通期予想から変更してありません。

\*2 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

\*3 宿泊特化型ホテル「ウイアン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。



# 8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2019年3月期1Q実績			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	405	+19	105.1	・セブン-イレブン提携店舗好調 等
		営業利益	14	+0	106.2	
	百貨店	営業収益	159	▲ 1	99.4	
		営業利益	2	+2	610.0	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	149	+6	104.4	・ルクア1100 B1,B2リニューアル 等
		営業利益	25	+3	114.0	
	不動産賃貸・販売	営業収益	183	▲ 18	90.7	・販売戸数減 等
		営業利益	67	+6	111.5	
その他	ホテル	営業収益	84	▲ 5	93.8	・三宮ターミナルビル閉館 等
		営業利益	1	▲ 4	24.9	
	旅行	営業収益	84	▲ 3	95.7	
		営業利益	▲ 12	+0	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

# 9.連結財政状況

(単位：億円)

	2018年3月期 期末 A	2019年3月期 1Q期末 B	増減 B-A
資産*	30,718	30,559	▲158
負債*	19,555	19,210	▲344
純資産	11,163	11,348	+185
長期債務残高	10,322	10,469	+147
【長期債務平均金利 (%)】	【1.86】	【1.85】	【▲0.01】
新幹線債務	1,038	1,038	—
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	—
社債	5,249	5,399	+150
【社債平均金利 (%)】	【1.58】	【1.57】	【▲0.01】
自己資本比率 (%) *	33.2	34.0	+0.8
1株当たり純資産 (円)	5,273.42	5,384.59	+111.17

\*「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

# 10. 諸元表

(単位：人、億円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想(7/31) <sup>*1</sup>
連結ROA (%) <sup>*2</sup>	1.8	2.0	6.3	6.0
連結ROE (%)	3.7	3.7	11.3	10.5
連結EBITDA <sup>*3</sup>	946	990	3,561	3,552
連結減価償却費	395	385	1,635	1,665
連結設備投資 (自己資金)	292	366	1,694	2,800
単体設備投資 (自己資金)	194	274	1,278	2,180
安全関連投資	136	188	832	1,270
1株当たり配当金 (円)	—	—	160	175

	2018年3月期 1Q実績		2019年3月期 1Q実績		2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期予想(7/31) <sup>*1</sup>	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	49,184	26,512	49,416	25,921	47,869	25,291	—	—
金融収支	▲ 50	▲ 45	▲ 42	▲ 32	▲ 202	▲ 196	▲ 193	▲ 172
受取利息・配当金	1	6	6	16	7	12	7	27
支払利息	52	52	49	49	209	208	200	199

<sup>\*1</sup> 2018年4月27日発表の通期予想から変更していません。

<sup>\*2</sup> 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

<sup>\*3</sup> EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2018年7月31日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2018年7月31日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等及び平成30年7月豪雨に関する復旧費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>